

ドルトン7期生 の入学式を行いました

エストニアから学ぶ ソーシャルアントレ プレナーシップ

インドネシアと 日本の架け橋



【中等部入学式を行いました】

4/7(月)、中等部入学式を行い、7期生となる新入生を迎えました。

新中2から高3までの生徒達が、新入生と保護者を歓迎し、受付、アテンド、音響照明、撮影など、あらゆる場面で機転をきかせ、よく動いてくれるお蔭で、スムーズな進行ができました。

上級生達は新入生を待ち構えて教室に案内し、教室ではあれこれ話しかけて、場をあたためており、先生の指示がなくても自分達で場をつくっていくのがドルトンの生徒の良い所です。

入学式では新入生一人ひとりが、ドルトンで何をしたいか、どうなりたいか、宣誓をする場面もあり、新入生の思考・言語能力の高さに最初から圧倒されました。

会場に新入生が入場する際の、保護者の皆さんの満面の笑顔はとても嬉しく、しあわせのおすそ分けをしていただく気持ちになります。

安居校長からもお話があったとおり、学校と保護者と皆で、今はまだ小さな生徒達の健やかな成長を見守って参りましょう。



【「エストニアから学ぶソーシャルアントレプレナーシップ」を実施しました】

4/18(金)、エストニアのタリン工科大学クルッサーレカレッジ Merit Kindsigo 学長をお招きし、ドルトンの生徒達と安居校長とともにパネルディスカッションを行いました。

司会とパネラーは、今年1月から2月にかけてエストニアに短期留学した生徒達です。教育機関・企業訪問、ホームステイ等を通して、わが身の保身よりも公共の益のために協働し、前進しようとするエストニアの人々の姿勢に、自らの人生観・人間観に強烈な刺激を受け帰国しました。

「常に周囲から脅威を受けてきた歴史のある小さな国だからこそ、国民は団結し、生き抜くための知恵を絞らなければならなかったがゆえに、創造性や協調性、挑戦する姿勢が、自然とはぐくまれたのだと思う」と Merit Kindsigo 学長もお話しされていました。

短期間の研修ではありましたが、研修の前後では生徒の学びに対する姿勢には大きな変化があり、生徒にここまで大きな影響を与えたエストニアという国に、ますます興味を深めます。

これを機に今後もエストニアとの良い関係を築いていきたいと考えています。



【インドネシアと日本の架け橋】

4/22(火)、アムズル・リフィン インドネシア共和国大使館教育文化担当官をお招きし、インドネシアとの交流の可能性について懇談しました。

先月、東京都の TEP-CUP 英語プレゼンテーションコンテストの審査員をなさったアムズル・リフィン氏が、優勝したドルトン生のプレゼン内容にご興味をお示しいただいたことで、今回のご縁が生まれたものです。

同コンテストで優勝した生徒に加え、神田外国語大学インドネシア語スピーチコンテストで優勝した生徒も同席して話が弾み、今後の具体的なプランまで話し合いが進んだようです。

世界に向かって羽を広げるドルトン生の、今後の活躍にどうぞ期待ください。

【直近の学校開催イベント】

- 6/14(土) 学校説明会: 教育の特色と実践を中心に説明
- 7/19(土) 体験授業: 午前・午後実施(小5・6限定)
- 7/23(水) 帰国生対象説明会: 英語、国際教育や入試の説明



2025 年度学校説明会はホームページからお申込みください。なお、過去問題集は一般書店、Amazon、楽天等でご購入頂けます。



ドルトン東京学園中等部・高等部

〒182-0004 東京都調布市入間町 2-28-20

TEL (03) 5787-7945

Email: pub@daltontokyo.ed.jp (広報)